

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37871
事業名	リニューアル改修費					
評価担当課	所属名	教)生涯学習部 学校施設課				
	課長名	加藤	担当者名	玉井	電話番号	011-211-3832
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	■躯体の延命化:中性化対策等を行い躯体の劣化を防止する。■耐久性の向上:外壁、屋上防水、設備機器類の改修をする。■機能性の向上:バリアフリーや多様な学習形態への対応、トイレ改修等、施設の機能・性能を現在の学校に求められている水準まで引き上げる。			
		長期	学校施設の維持更新手法のひとつとして、改築より安価な長寿命化改修を60校実施し、これらを40年程度延命することで一時期に集中する財政支出を縮減し事業量の平準化を図る(「札幌市学校施設維持更新基本計画」平成28年3月策定による位置づけ)。			
	取組内容	学校施設の耐久性を高め、長寿命化を図るとともに、建物の機能や性能をレベルアップする改修を行う。 札苗中(電気3年目、建築・機械2年目) 拓北小、幌東小、平和通小、柏中、太平中 工事 工事(1年目) 北光小、三里塚小、手稲北小、北都小、八軒小、石山中 実施設計 北光小(外構)、屯田南小、新琴似緑小、苗穂小、美香保小、みどり小、北野小、北陽中 基本設計				
実施結果	工事(2年目):予定1校(札苗中)の完了 工事(1年目):予定5校(拓北小、幌東小、平和通小、柏中、太平中)の完了 実施設計:予定6校(北光小、三里塚小、手稲北小、北都小、八軒小、石山中)の完了 基本設計:予定8校(北光小(外構)、屯田南小、新琴似緑小、苗穂小、美香保小、みどり小、北野小、北陽中)の完了					
事業実施における工夫点	学校運営上の負担を最小限に抑えるため、工事期間を原則2か年に設定し、騒音や振動のある工事を長期休業期(夏・冬休み)に分散している(※仮設校舎は費用対効果が得られないため設置しない)。					
対象者	児童生徒等	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
他都市の状況	平成25年度に文部科学省から長寿命化改良事業の交付金が創設され、他都市でも同様の事業を行っている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	2,280,795	1,869,000	1,630,106	380,000
うち特定財源	1,712,999	1,654,000	1,593,140	380,000
人工	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費	14,400	14,400	14,400	14,400
計(事業費+人件費)	2,295,195	1,883,400	1,644,506	394,400
事業費の内訳	令和3年度決算	・実施設計(6校) 88,930千円 ・工事及び工事監理(7校) 1,531,255千円 ほか		
	令和4年度予算	・実施設計(6校) 133,094千円 ・工事及び工事監理(11校) 3,356,954千円 ほか		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	リニューアル改修設計着手校数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	5	6	6	8	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	リニューアル改修事業実施校数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	4	1	1	5	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 札苗中(電気3年目、建築・機械2年目)</li> <li>■ 拓北小、幌東小、平和通小、柏中、太平中 工事 工事(1年目)</li> <li>■ 北光小、三里塚小、手稲北小、北都小、八軒小、石山中 実施設計</li> <li>■ 北光小(外構)、屯田南小、新琴似緑小、苗穂小、美香保小、みどり小、北野小、北陽中 基本設計</li> </ul>			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	「札幌市学校施設維持更新基本計画(平成28年3月策定)」において実施した学校施設の維持更新手法の検討・分析に基づき、リニューアル改修の事業校数を実施した。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	校舎及び屋内運動場の築年数や周辺校における改築の有無等を考慮し、着手する順番を設定していることから、事業の実施手法は適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	B	標準耐用年数を経過した内外装材や設備の改修により耐久性・機能性の向上を行うことで、児童生徒の安全確保、学習環境の改善を図ることができるため、対象者のニーズにしている。ただし、財源の兼ね合い等から十分な改修を実施できているとはいえない。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	平成28年度からの実施設計を通し、アクションプラン策定時に算出した事業費では、現在の学校に求められている機能・性能を十分に満足した改修が出来ないことがわかった。加えて本事業で対応することが望ましい学校特有の課題(グラウンドの排水不全や危険遊具、アスベストや非構造部材、外部建具等の不具合)に対応が出来ていない。				
前回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	リニューアル改修工事の機能向上を目指した札幌市学校施設維持更新基本計画の見直し検討		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	札幌市学校施設維持更新基本計画の現計画の範囲内での改修を実施できたが、見直し検討の反映までは至っていない。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 維持更新基本計画及び現在策定中のアクションプラン2019に基づき、令和4年度は基本設計7校、実施設計8校(北光小外構実施設計含)、工事11校(1年目6校、2年目5校)実施する。 また、札幌市学校施設維持更新基本計画の見直しを図る。			
	予算	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 縮小    ○ その他		見直し効果額	0
	アクションプラン2019に基づく事業校数を予算要求する。				